

令和7年6月30日

於 教育委員会室

令和7年6月

大和市教育委員会定例会

大和市教育委員会

令和7年6月大和市教育委員会定例会

○令和7年6月30日（月曜日）

○出席委員（5名）

1番	教育長職務代理者	前田良行
2番	委員	森園廣子
3番	委員	伊藤健司
4番	委員	三浦里美
5番	教育長	藤井明

○事務局出席者

教育部長	斉藤信行	教育総務課長	河村章太
学校教育課長	石塚貢	保健給食課長	山川良児
指導室長	菊地敬幸		

○書記

教育総務課 政策調整係 長	高橋晃一	教育総務課 政策調整係 主査	伊藤禎
---------------------	------	----------------------	-----

○日程

- 1 開 会
- 2 会議時間の決定
- 3 会議録署名委員の決定
- 4 教育長の報告
- 5 議 事
日程第 1 （議案第18号）令和8年度使用小学校教科用図書の採択について
日程第 2 （議案第19号）令和8年度使用中学校教科用図書の採択について
日程第 3 （議案第20号）令和7年度大和市奨学生の選考について（諮問）
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

開会 午前10時00分

○藤井
教育長

ただいまから教育委員会6月定例会を開会いたします。

会議時間は正午までといたします。

今回の署名委員は、2番、森園委員、3番、伊藤委員をお願いいたします。

続きまして、教育長の報告をさせていただきます。教育委員会6月定例会教育長報告をご覧ください。

(1) 前月定例会以降の動き。

1番、神奈川県都市教育長協議会総会、5月23日、平塚市役所。昨年度の決算、今年度の予算、情報交換などを行いました。万博の修学旅行の話題も出ましたが、本市も含めて現在のところ大きな問題はございません。

2番、関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（長野大会）、5月30日、長野県長野市ホクト文化ホール。日帰りの強硬日程でした。研修会ということで、新しい学習指導要領の検討過程など、とても分かりやすく説明していただきました。

3番、相模獣医師会第13回通常総会、6月3日、レンブラントホテル海老名。学校飼育動物や小動物の相談などお世話になっている獣医師の先生方との情報交換をいたしました。

4番、大和市赤十字奉仕団設立30周年記念式典、6月8日、北京飯店。日頃から高齢者施設への慰問や献血の協力、募金活動など地域に根差した様々な奉仕活動にご尽力されていることに改めて頭が下がる思いでした。森園委員が副委員長を務めていただいております。

5番、第25回記念公募「大和展」表彰式、6月22日、大和芸術文化ホール。今回は、中学生から作品を公募するという新しい試みを行いました。中学生の出展は残念ながらありませんでしたが、高校生からの出展もあり、表彰されている方もいらっしゃいました。今後も、いろいろと裾野を広げていくという話でした。

6番、第22回県央女流展、6月24日、大和芸術文化ホール。絵画や工芸を中心に大きな舞台上で活躍されている方々の作品展です。それぞれの作品が持つ魅力など、説明を伺いながら拝見することで、その深さに関心いたしました。

7番、大和市学校保健会講演会、6月25日、大和芸術文化ホール。養護教諭をはじめとする教職員や栄養士、医師、歯科医師、薬剤師、PTAなどが参加。HPVワクチンについて林間クリニックの南淵芳先生

にご講演いただきました。

8番、大和市交通安全対策協議会役員会、6月27日、保健福祉センター。交通安全に関する実施要項の確認と情報提供、また、秋も含めて年間通しての活動の確認がありました。

9番、大和市部活動地域移行推進協議会総会、6月27日、市民活動拠点ベテルギウス。部活動の地域展開につきましては、地域の実情に合わせ全国的に推進されています。参加された方々へは、中学校や保護者にとって、よりよい形を目指していきたいという話をしました。

続きまして、2番、(2)令和7年大和市議会第2回定例会日程及び一般質問の概要についてです。

日程関係については、記載されているとおりです。

続きまして、一般質問の概要です。

1番、鳥淵議員からは、学校防災マニュアルの活用について、大和市の防災マニュアルが改訂されて5年が経過していることから、見直しが必要と考えているという中での質問です。大和市学校防災マニュアルは、各学校の指針となるものであり、近年の集中豪雨や熱中症などの危険性を踏まえ、ICT活用、地域や保護者との連携など時代に即した防災マニュアルの改訂を検討していくと回答いたしました。

2番、中村議員、別居親の学校行事への参加についてということで、別居夫婦の共同親権が認められた場合、その親の学校行事への参加についての考えを聞きたいというご質問でした。特別な事情を除き、児童生徒の安全などを最優先として、参加可能と考えている。保護者への連絡は、すぐ一斉配信しており、個別連絡が必要な場合は、学校に届けを出している保護者へ連絡をしていくという答弁をしました。

3番、河端議員、熱中症対策ガイドラインについて、それから、児童生徒への安心・安全なインターネットの利用についてご質問がありました。まず、熱中症ガイドラインについては、他市との比較から大和市の状況とその強化を求める質問でした。児童生徒の命と健康を第一に考え、学校や保護者、地域に対して注意喚起や情報提供を行いつつ、必要な改定を実施しながら熱中症対策の強化に努めていく。児童生徒の安心・安全なインターネット利用については、不登校児童生徒も含め、その対策についてご質問がありました。特に情報モラル教育に関しては、学習指導要領にのっとった育成に加えて、最新情報にも注意を払い、各学校が行う情報モラル教育の推進を支援していくと回答しました。

4番、布瀬議員、健康診査後のフォローアップ体制についてということで、支援が必要な子どもたちへの切れ目ない支援体制の充実が必要と

のご質問がありました。一貫性が途切れることがない支援を目的とした相談支援ファイル「かけはし」は、すくすく子育て課と連携し、必要な家庭に配布し、その後の支援に生かしている。また、様々な場で就学相談につながる機会は大切である。学校では、教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制を整えているが、人事異動等もあるので、安定した体制づくりに努めていくと回答しました。

5番、金原議員、小中学校へのデジタル科の導入についてと、中学校における英語教育について。デジタル科の導入については、デジタル社会と関わっていく子どもたちの将来に向けて、教員の充実が必要とのことからご質問でした。新しい時代を生きていく児童生徒に不可欠な情報活用能力を育成するため、これまでの教育実践とICTとのベストミックスを図りながら、誰一人取り残すことがない学びの実現に向けた取組を今後も推進していくと回答しました。また、英語教育については、オンライン英会話を導入している他市の事例から、大和市でも必要と考えたということでご質問いただきました。オンライン英会話はマンツーマンのメリットがあるが、対面で話せたり、教員のアドバイスをその場で受けられたりする学校だからこそできる英語教育を継続していく。オンライン英会話については、他市の動向を注視していくと回答しております。

6番、北島議員、いじめの捉え方について、広義のいじめの捉え方ではなく、犯罪につながる行為として扱うことができないかというご質問でした。教育委員会としては、児童生徒が自身の姿を肯定的に思い描きながら、より充実した学校生活を過ごすことができるよう学校と連携し、必要に応じて警察や専門家の助言も受け、いじめの未然防止・早期発見・早期対応・解消等を図っていくと回答しました。

7番、堀口議員、「生理の貧困」から「生理の尊厳」へ、小中学校での取組状況についてということで、生理に関する発信方法や多様なニーズに応えるための情報収集についてのご質問でした。教育活動全体を通して発達段階に応じた学習をしている。情報収集については、様々な手法でニーズを把握し、さらなる利用促進に取り組むよう各学校に働きかけていくと回答しました。

8番、石田議員、教員の働き方について及びいじめ問題の対応について。教員の働き方改革については、教員不足や適正でない業務量からのご質問でした。教育委員会としては、引き続き各学校と連携し、長時間勤務の解消をはじめとする業務負担軽減に向けた取組をさらに進めることにより、教員が子どもたちに向き合う時間を確保するとともに、教員

の質をより高めて学校の特色を生かした学校づくりを進めていくと回答をいたしました。また、いじめ問題の対応については、学校は警察と連携を図りながら行うべきではないかというご質問でした。教育委員会としては、児童生徒が自身の姿を肯定的に思い描きながら、より充実した学校生活を過ごすことができるよう学校と連携し、必要に応じて警察や専門家の助言も受け、いじめの未然防止・早期発見・早期対応・解消等を図っていくという回答をいたしました。

9番、星野議員、教育の中立性と外部団体との関わりについてということで、小中学校で偏った政治的見解を含む文書が記載された情報誌が配布されたことに対するご質問でした。教育委員会では、教育委員会及び学校の関係者などが外部団体と関わる際は、組織や教職員への影響の強さを認識し、全体の奉仕者としてより一層の使命と職責の重要性を自覚した行動が求められると考えている。また、児童生徒が平和で民主的な国家・社会の形成者として個々の価値が尊重され、豊かな情操や創造性を備えるとともに、安心して成長していけるようたゆまぬ努力により、政治的中立性を確保し、教育行政の責務を全うしていくと回答しました。

10番、青木議員、学校における防災教育について、議員の経験から体験学習の重要性と体験型防災施設を紹介され、その実施についてのご質問でした。防災教育の推進については、児童生徒の発達段階に応じた指導や実践的な学習が必要であり、各学校が実施する体験学習の選択肢の一つとして情報提供をしていくと回答しました。

11番、村田議員、日本語支援センター「スマイル」の役割について、視察を通して児童生徒の実態や日本語指導の必要性を改めて感じてのご質問でした。より充実した支援と支援力向上を目指し、多様な教育的ニーズに応えることに加え、ライブラリー機能や教職員が日本語指導を学ぶ場としての役割を加えた。また、対象の児童生徒にとって、豊かな学習体験や生活体験ができ、公共交通機関でのアクセスが良好であることから、令和7年4月、渋谷小学校内に日本語支援センター「スマイル」を開設したという回答をしました。

12番、町田議員、情報モラルに関して、情報モラル教育の現状とネットリテラシーの向上に向けたご質問でした。各学校では、専門の業者による児童生徒や保護者対象の情報モラル教育の機会を設けている。教育委員会では、ネットリテラシーの向上も踏まえ、社会の状況や児童生徒の実態に応じて各学校において適切な指導が行えるよう支援をしていくと回答いたしました。

以上です。

(3) 番、次月定例会までの予定については、そこに記載したとおりです。また次回の教育委員会の定例会でご報告をしたいと思ひます。

私からの報告は以上ですが、何か今の報告に関してご質問、ご意見などありましたら、よろしくお願ひいたします。

森園委員。

○森 園 4 番の大和市赤十字奉仕団設立 30 周年記念式典でございますが、教育長にご出席いただきまして、ご祝辞をいただいたうゑに表彰していただきました。大変ありがとうございました。

○藤 井 伊藤委員。
教育長

○伊 藤 一般質問の概要について、どれも大変大切な事柄であると思ひます
委 員 が、特に 3 番の熱中症対策ガイドラインについて、これから本格的な暑さを迎えていくわけですし、様々な問題もあるかと思ひますので、リアルタイムに対応できるように教育委員会としても考えていかななくては
けないと強く思ひました。

○藤 井 今のところ、学校で冷房の不具合が起きたということは聞いていませ
教育長 んが、ベテルギウスのまほろばで、一時期少し大変な状況がありました。全体としては、今年度から中学校の体育館にも空調を設置する方向で進んでいますが、一遍に全校というわけにはいかないの、今年度ま
ずは 4 校予定しています。できるだけ早く実現したいと思ひています。

ほかはどうでしょうか。

(発言する者なし)

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

では、ほかはないようでしたら、ただいまの報告に対する質疑を終了いたします。

◎議 事

○藤 井 それでは議事に入ります。

教育長 日程第 1、議案第 18 号「令和 8 年度使用小学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

細部説明を求めます。

菊地指導室長。

○菊 地 「令和8年度使用小学校教科用図書の採択について」ご審議をお願い
指導室長 します。

教科用図書につきましては、毎年採択の必要がございます。ここでは、制度の説明は省略させていただきます。

小学校におきましては、採択年度が令和5年度でしたので、令和6年度から4年間使用することになっております。つまり、令和8年度は3年目に当たります。そこで、令和8年度使用小学校教科用図書の採択につきましては、現在使用している教科書と同一の教科書の採択をお願いするものであります。

1枚おめくりください。

資料として、令和8年度使用大和市小学校教科用図書一覧表を添付してありますので、ご覧ください。

以上で説明を終了いたします。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○藤 井 細部説明が終わりました。

教育長 何か質疑、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

(発言する者なし)

特によろしいでしょうか。では、これより議案第18号について採決をさせていただきます。

本件の原案についてご異議はないでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、第18号は可決されました。

続きまして、日程第2、議案第19号「令和8年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

細部説明を求めます。

菊地指導室長。

○菊 地 引き続き、「令和8年度使用中学校教科用図書の採択について」ご審
指導室長 議をお願いします。

中学校教科用図書につきましても、毎年採択の必要がございます。説明などは省略させていただきます。

中学校におきましては、採択年度が令和6年度でしたので、令和7年度から4年間使用することになっております。つまり、令和8年度は2年目に当たります。そこで、令和8年度使用中学校教科用図書の採択につきましては、現在使用している教科書と同一の教科書の採択をお願いするものであります。

資料として、令和8年度使用大和市中学校教科用図書一覧表を添付し

てありますので、ご覧ください。

以上で説明を終了いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○藤井
教育長

細部説明が終わりました。

質疑、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

(発言する者なし)

特によろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

特にないようですので、これより議案第19号について採決いたします。

本件の原案についてご異議はないでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、議案第19号は可決をされました。

少し余談になりますが、先日長野に行ったときには、既に次の学習指導要領が検討されているということで、やはり国の動きというのは、どんどん前倒しで進んでいると感じました。

では次に、日程第3、議案第20号「令和7年度大和市奨学生の選考について(諮問)」を議題といたします。

細部説明を求めます。

石塚学校教育課長。

○石塚
学校教育
課長

令和7年度大和市奨学生の選考に係る大和市奨学生選考審査会の諮問についてご審議をよろしくお願いいたします。

資料を1枚おめくりください。

今年度の奨学金の申請人数の資料になります。1年生が、申請人数34名、前年度は41名です。2年生は、申請人数31名、前年度は39名、3年生が、申請人数38名、前年度が32名、合計で103名の申請人数で、前年度は112名となっております。その後ろのページは、今年度の申請者の名簿一覧となっております。

○藤井
教育長

細部説明が終わりました。

何かご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

なお、質疑の際ですが、個人情報にご配慮いただきますようお願いいたします。

三浦委員。

○三浦
委員

前年度から人数が少し減っているように思うのですが、申請が減った理由はございますか。

○石塚

昨年度の申請から減少傾向にあるようで、全体の所得がだんだん上が

学校教育
課 長 ってきていて、選考基準に満たなくなっているということが要因の一つ
であると考えております。また、成績の評定の基準もありますので、そ
の辺りの影響もあると思います。

○藤 井 伊藤委員。
教育長

○伊 藤 関連してですが、これは少ないからいいということではないと思いま
委 員 す。やはり広くしっかりと、この150という枠があるわけですから、
ここに近づけられるように、今、3つの要件があると思いますが、その
辺りを少し見直していくことも必要になってくると思います。

○藤 井 ほかに何かございますか。
教育長

○石 塚 他市の様子も見てみますと、基準もいろいろありまして、例えば金額
学校教育 が多いところについては、基準の成績が高かったりとか、あとは、かな
課 長 り人数を限定しているところもありまして、大和市としましても、勉学
に意欲ある若者が所得の問題で意欲を失うとか、諦めるとかそういった
ことがないように、基準を見直していくことも必要とっております。

○藤 井 では、森園委員。
教育長

○森 園 別添の候補者の中から150名以内ということですが、今回は103
委 員 名ということで、かなり少なくなってきました。やはり150名とい
う枠がある場合は、それに沿った形で、できるだけ多く奨学金の対象と
なるように、3つの要件の見直しを検討いただきたいです。経済的な理
由で申請者が少なくなっているということ、3年間私は聞いておりま
す。それに対して、検討していらしているのかどうか私には分かりませ
んが、その辺り、再度何回も申し上げますが、スピード感を持ってやっ
ていただきたいと思っております。

○藤 井 ここに出ている103名全員が通るかどうかはまだ分かっていません
教育長 が、それも踏まえて、今ありました森園委員のご意見に対して、課長か
ら何かありますか。

○石 塚 森園委員のご意見は本当におっしゃるとおりで、なるべく多くの経済
学校教育 的に困っている若者に支援をしていきたいとは考えております。ただ、
課 長 今のところ成績等の基準にもいろいろな基準がありまして、就学援助や
生活保護など、そういったものもありますので、その辺りの制度の基準
も加味しながら検討していきたいと思っております。

○藤 井 前田委員。
教育長

○前田委員 同様の意見ですが、やはり少なくなったのは、経済的要件が一番大きいということになると、所得が上がってきていても、物価等も上がってきているわけです。その辺りでやはりもう少し近隣市の様子も見ながら、基準を検討してほしいと思います。

○藤井教育長 ほかはどうでしょうか。

(発言する者なし)

よろしいですか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

これより議案第20号について採決いたします。

本件の原案についてご異議はないでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、議案第20号は可決をされました。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時26分

再開 午前10時29分

○藤井教育長 それでは、再開いたします。

教育長

◎その他

○藤井教育長 それでは、その他に入ります。

教育長

各課での報告事項について順次報告をしてください。

まず、第39回学校給食展の開催について。

山川保健給食課長。

○山川保健給食課長 それでは、第39回大和市学校給食展の開催につきまして、ご説明させていただきます。

保健給食

課長

テーマにつきましては、「みんながつながる 大和の給食」となります。

目的といたしまして、学校給食についての情報発信や、給食をモデルとして児童生徒に限らず幅広い年齢の方に食と健康に興味を持っていただき、健康意識の向上を目指します。

また、給食を通して食や食を取り巻く人、自然の恵みなどに感謝するきっかけをつくる機会とさせていただきたいと考えております。

開催日時につきましては、8月2日の土曜日、午前10時から午後4時までとしております。

会場は、シリウス1階サブホールでございます。

続きまして、イベントの概要でございますが、展示物といたしましては、給食の歴史の紹介、給食機器や給食器具の紹介の3つのコーナーがございます。

給食の歴史のコーナーでは、給食開始当時の給食のレプリカや献立の掲示を行います。

給食機器と給食器具の展示については、子どもたちが体験もできるコーナーにしたいと考えております。具体的には、釜の中に食材に見立てたプラスチックのボールを散りばめ、かいを使ってかき混ぜることができるなど、実際に器具に触れながら調理作業を体験していただきます。

給食業者ブースと地場食材ブースは、実際に学校給食に食材を提供している方たちの顔が見えるコーナーにしたいと考えております。給食業者ブースのパン業者のコーナーでは、午前にはパンの販売を行うほか、別室でパン作りを体験できる教室も開催いたします。販売するパンは、学校給食で提供しているロールパン、黒パン、米粉パンのセットになります。パン教室では、給食用のパンと同じ生地で作ります。牛乳業者は、牛乳の飲み比べの無料試飲を行います。学校給食で提供している北海道産の牛乳と普通乳、低脂肪乳の3種類を飲み比べる体験コーナーとなっております。地場食材ブースでは、午後には市内農家の方々による市内産の野菜の販売または配布を予定しております。

また、新しい体験イベントとして、キーホルダー作成を企画しております。これは、レジンという液体樹脂を型に入れ、LEDライトを当てることで固めるもので、おおむね10分ぐらいの予定です。これにより、キーホルダーに成型いたします。完成品といたしましては、例えば、お土産屋などでよく見かける透明のプラスチックの中にデザインが散りばめられているようなキーホルダーのイメージでございます。このデザインとして、キーホルダーの中に散りばめる材料として、学校給食で提供しているちりめんじゃこの中にもともと含まれている小さなエビやタコなどイワシの稚魚以外の乾物状態の生き物を利用します。学校給食でちりめんじゃこを提供する際に、甲殻類や異物除去のためにあらかじめ職員が手作業で選別し、イワシの稚魚だけを提供するように努めておりますが、その際に、選別したエビやタコなど海の小さな生き物をキーホルダーの中に散りばめ、デザインとしたいものでございます。

動画視聴コーナーでは、大和市とゆかりのあるスポーツチーム選手から子どもたちへのメッセージ動画や、学校給食を調理している様子の動画、やまとん汁のPR動画などをご覧いただけます。

このほか、来場者への配布物として、大和の給食やレシピを掲載した

給食展冊子を配布いたします。この冊子は、穴埋めラリーの記入用紙も兼ねていて、会場内の各コーナーにある平仮名を集めて言葉を完成させると、景品として野菜や果物の形の消しゴムを差し上げる予定です。また、アンケート回答者には、数量限定ではございますが、エコバッグを配布いたします。

最後に、周知方法でございますが、給食だよりやすぐーる配信、X、LINE、ホームページの周知のほかに、広報やまや給食展のポスターを小中学校、シリウス等公共施設などに展示いたします。また、イベントの2週間前程度を目安に、プレスリリースを行う予定です。市民の皆様幅広くお知らせしたいと考えております。

○藤井 教育長 何かご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。伊藤委員。

○伊藤 委員 給食は日本が誇るべき大変すばらしいシステムです。前回、資料を拝見したときには、少し周知が足りないのかなと感じたわけですが、今お伺いしますと、プレスリリースを2週間前に打っていただけるということです。ですから、学校関係以外の市民の方であったり、今、いろいろと給食が取り沙汰されているところもありますので、やはりこういったことは広く知っていただいて、大和はこういった形で頑張っているということを広く認知拡大していただきたいと思います。ですから、プレスリリースを打つだけではなくて、打っていただいたその後のフォロー、例えば、タウン誌に掲載をお願いできればなおよろしいでしょうし、最後まで認知拡大にご尽力いただきたいと思います。

○藤井 教育長 ほかはどうでしょうか。森園委員。

○森園 委員 第39回ということで、歴史を持った給食展だと思いますが、今、伊藤委員がおっしゃったように、給食は、学校教育の中でも本当に大切な要素を占めるものだと思うのです。それを皆さんに知っていただきたいので、もちろん周知も大切だと思いますが、この様々な内容について、体験して知っていただくと、とてもいいと思います。

近年すごく内容が充実していて、人気が上がったのではないかと思います。去年はどれくらいの方が参加したのでしょうか。

○山川 保健給食課長 すぐ確認いたします。

○森園 委員 よろしく申し上げます。

また、今、アレルギーに対してとても敏感な時代になっておりますの

で、その辺りの対応として、学校給食で行っていることについて、報告、お知らせがあるとうれしいです。

○藤井 ほかはどうでしょうか。

教育長 (発言する者なし)

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

では、ぜひ準備を含めて、よろしく願いいたします。

続きまして、English Dayの実施について、菊地指導室長。

○菊地 English Dayの開催についてご説明いたします。

指導室長 今年度のEnglish Dayは、小学校5年生、6年生の希望者を対象に、授業等で学んだ英語を生かして、実践的なゲームやコミュニケーション活動を行う日として、夏休みの8月2日の土曜日、午前10時からと午後14時からの2展開で、大和市立光丘中学校3階多目的室を会場に開催いたします。

当日は、外国語活動指導助手や英語指導助手にも参加してもらい、アクティビティを企画しております。

これまでのEnglish Dayにおいても、ゲーム性を取り入れたコミュニケーション活動を中心に行い、参加した児童からは、知っている先生がいてうれしかった、皆フレンドリーに話しかけてくれるからとても楽しかったとか、クイズ形式にしたり、質問を投げかけてくれたりして、みんなが参加できるようになってよかった、少し分からない単語があったけれども、英語を勉強しようというきっかけになったという感想をいただいております。

今回は、昨年に引き続き7回目の開催となりますが、ネイティブスピーカーが直接話すことを重視し、参加した小学生が楽しんで英語で話せた、聞いた、通じたと実感できるように取り組んでまいります。

教育委員の皆様におかれましても、ご都合がよろしければ、ご参観いただけると幸いです。ご希望がございましたら、お声がけください。

○藤井 それでは、何かご質問、ご意見ございましたら、お願いいたします。

教育長 伊藤委員。

○伊藤 English Dayは長く開催されていると思うのですが、大和委員 は国際化が進んでいる市だと思っております。そのような中で、もちろん今年度は企画がここまで詰まっていますので無理だと思いますが、将来的には、例えば米軍の学校に通っている同じような年頃の子どもたちとの交流の場を設定し、一緒に遊んだり英語で話したりすることができた

らいいと思うのです。ですから、そういった交流をぜひとも形にしていただきたいと思ひますし、国際化協会というセクションもあるわけですから、そういったところにも少し意見を聞いたり、協力をいただきながら、English Dayというものを充実させていっていただきたいと思ひます。来年度以降の検討課題にしていいただければと思ひますので、よろしくお願ひします。

○菊地 指導室長 まだ確定ではありませんが、今年度までは1校に全校から集まるという形になっておりますが、来年度、各学校でできるような仕組みなども、今、検討しております。米軍の件についても、8月はちょうど学年の切り替えの時期で、国に戻るといったこともあるので、その辺りも考慮して検討していきたいと思っております。

○藤井 森園委員。
教育長

○森園 委員 コロナ前の第3回目だったと思ひますが、出席させていただきましたが、クイズをやったり、英語に対する歴史など、そういったものをお勉強的にやっていって、実際に英語で話をするイングリッシュスピークというような感じでは受け取れなかったです。実際、今ここでご説明があったように、直接話すことを重視するといった場合には、何気ない人と人とのコミュニケーションの中で生まれるということが、大きいと思ひています。私もそういうことを期待しながら出席しましたが、そういう方はいらっしゃらなかったです。外国の先生方もいらしたのですが、取り立てて積極的に子どもたちと話すとか、そういう様子もなかったもので、逆にこのEnglish Dayの本当の目的が、直接話すことを重視するというのであれば、ワーク的な内容よりは、もっとリラックスした状態でのコミュニケーションの中で、自分の言葉が相手に通じるというような、そういったEnglish Dayにさせていただくといひのかなと個人的に思ひました。

そこで、今おっしゃったような米軍基地の中のお子さんたちをとひうことも、一つの手だとは思ひますが、大和西高などでは留学しているお子さんもいらっしゃいますし、英会話が堪能な方もいらっしゃるので、そういう方を交えて、なるべくこの日は英語でしゃべりましようといひうような日の設定もいひのかなと思っております。

○菊地 指導室長 僅か1時間、2時間の中で、いっばい目的を詰め過ぎてしまうと、おそらく子どもたちも主体性というところが難しくなると思っております。昨年度の反省でも、ALT、AETなど大人が話し過ぎてしまったということがありましたので、子どもたちが会話をする場面を工夫して

入れていくなど、意見交換を重ねながら、今年度も開催していきます。毎年ブラッシュアップをしながら、つくっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

- 藤井 他は何か。
教育長 前田委員。
- 前田 先ほど各学校でできるようにという話がありましたが、これはとても
委員 いいなと思いました。光丘中学校は教室も広いところがあって、大和の
中心にあるということで、選ばれたのかなと思いますが、北のほうと南
のほうからは距離もありますし、行くにも必ず保護者がついていかなければいけないなど、いろいろな条件がありますので、せめて各中学校で
やってもらえれば、近くの中学校に行つてEnglish Dayに参加できる生徒も児童も増えて、ますます盛んになるのではないかと思います。
ぜひ検討していただきたいと思います。
- 藤井 ほかはどうでしょうか。
教育長 森園委員。
- 森園 各学校で開催するということもいいと思いますが、やっぱりこういった
委員 コミュニケーションを必要とする場というものは、いろいろな人が集
まり、いろいろな学校の子が集まるということも必要だと思っています。
- 藤井 ほかはどうでしょうか。
教育長 (発言する者なし)
よろしいでしょうか。
(「はい」の声あり)
それでは、予定されている報告は以上でございます。
ほかに何か事務局からございますか。
- 山川 先ほど保健給食課からの学校給食展のご説明の中で、森園委員から
保健給 いただいたご質問にまだお答えしておりませんでしたので、そちらにつ
課 長 いてのご報告になります。昨年度の学校給食展の参加人数でございます
が、735名でございました。
- 藤井 それでは、予定されている報告は以上でございますが、ほかに事務局
教育長 より何かございますか。
(発言する者なし)
よろしいですか。
委員の皆様から何かございますか。
(「ありません」の声あり)
よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、7月の会議の日程をお知らせいたします。

7月の定例会は、7月24日木曜日、午前10時からを予定しております。

◎閉 会

○藤 井 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。
教育長 これにて教育委員会6月定例会を閉会いたします。

閉会 午前10時47分